

オフィシャルイベント

Rakuten Fashion Week TOKYO

Rakuten
Fashion Week TOKYO
Rakuten

会 期：2023 S/S・A/W

会 場：渋谷ヒカリエ・表参道ヒルズ 他

主 催：(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構

後 援：経済産業省／外務省／知的財産戦略本部／(独)日本貿易振興機構／(独)中小企業基盤整備機構／東京都／

(一社)日本経済団体連合会／日本商工会議所／東京商工会議所／

(一財)日本ファッション協会／

(一社)日本アパレル・ファッション産業協会／(一財)ファッション産業

人材育成機構／(一社)日本百貨店協会／

渋谷区／渋谷区商店会連合会／日本ジーンズ協議会

公式サイト URL：https://rakutenfashionweektokyo.com/jp/

◆出展社数：

2023 S/Sシーズン 49ブランド
(デジタル：22ブランド フィジカル：27ブランド)

2023 A/Wシーズン 58ブランド
(デジタル：16ブランド フィジカル：42ブランド)

■開催内容

「Rakuten Fashion Week TOKYO」は、(一社)日本ファッション・ウィーク推進機構(以下JFWO)が主催し、毎年2回開催しているファッションの祭典であり、渋谷ヒカリエと表参道ヒルズを公式会場に、その他東京各所から世界で注目される最新の日本のクリエイションを発信。Rakuten Fashion Week TOKYO 2023 S/S・A/Wシーズンでは、パンデミックで培った「デジタルとフィジカルの融合」と「グローバルな発信力の強化」というニューフォーマットをベースに、さらなる発展のため新たなステージに向けて舵を切った。

また2023 S/Sシーズンより「世界に向けた新人デザイナーの登竜門」を通して、今後グローバルにファッション業界で活躍が見込める新しい才能を育成・支援していくことを主旨としたJFWOによるブランド支援プログラムを発足。初代2023S/Sシーズンは「FETICO」がグランプリとして選出され、2023シーズンを通してフィジカルでのショーを実施した。デジタル発表についてはさらなる発展が予想されるデジタル上の表現方法の挑戦へとつなげることで、それぞれの受賞ブランドが次のステージへ前進する機会となることを目指し、JFWOとしても継続的にブランドへの支援をしていく。

■2022年度の新規取り組みとその成果・特色など

withコロナ時代となってきた2023シーズンでは、引き続きRakuten FWT独自の「新型コロナ感染予防対策マニュアル」の指導、検温・消毒・マスク着用の徹底、公式会場における二酸化炭素濃度検出装置(協力：旭化成㈱)設置、スタッフへの毎日抗原検査を実施。さらに2023S/Sシーズンからは、非接触型招待客・来場者管理システムとして、株式会社GENEROSITYが提供するデジタルインビテーションサービス「WeCALL」を公式会場等に導入。安心・安全なイベント開催に向け様々な対策を引き続き実施してきた。

また2023A/Wシーズンは、政府の発表によりマスクの着用が個人に委ねられた3月13日に開幕。参加ブランドも約7割がフィジカルでの発表となり、コロナ禍での開催による閉塞感から脱却し、開放感とともに一層の東京のファッション・ウィークの存在を世界にアピールすることができた。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数・成果

その他関連イベント

- ・TOKYO FASHION AWARD 2023 WINNERS' EVENT
- ・FASHION PRIZE OF TOKYO 2023 WINNERS' EVENT
- ・TOKYO CREATIVE SALON 2023 他

